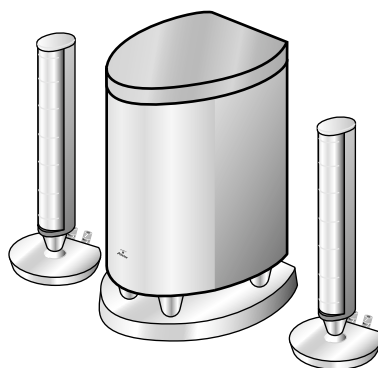
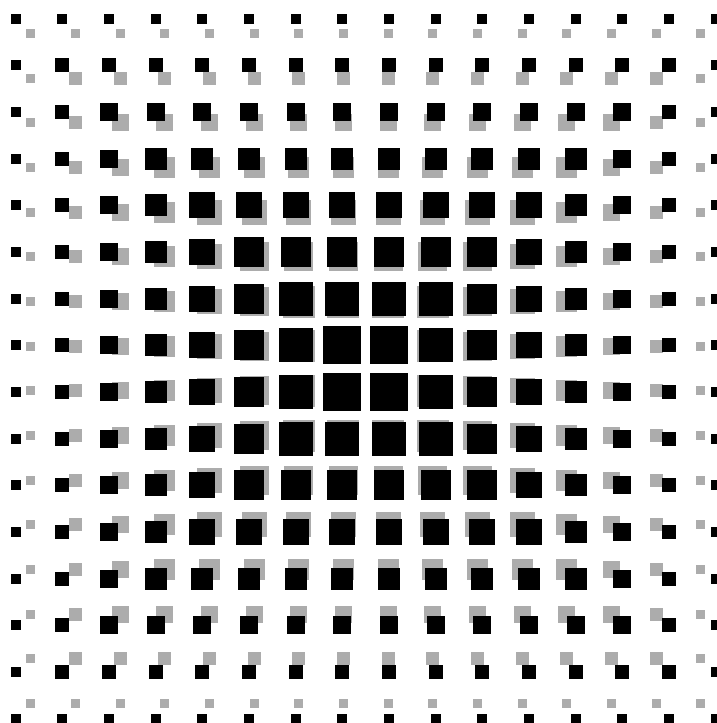


スピーカーシステム

型名 **SX-DD3**

Speaker System SX-DD3



お買い上げいただき、ありがとうございます。

△ご使用前に

この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
特に「安全上のご注意」は、必ずお読みいただき、安全にお使
いください。

お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要
なときにお読みください。

この「取扱説明書」は再生紙で作られています。

安全上のご注意 —はじめにお読みください—

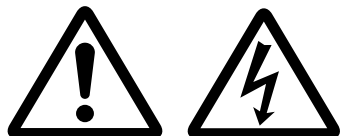
絵表示について

この取扱説明書と製品には、いろいろな絵表示が記載されています。これらは、製品を安全に正しくお使いいただき、人への危害や財産への損害を未然に防止するための表示です。絵表示の意味をよく理解してから本文をお読みください。

警告

- この表示の注意文を無視して、誤った取扱いをすると、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容を示しています。
- この表示の注意

注意をうながす記号



一般注意

感電

行為を禁止する記号

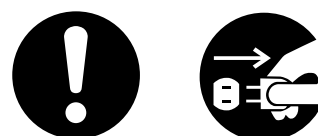


禁止

分解禁止

水ぬれ禁止

行為を指示する記号



一般的指示

電源プラグを抜く

警告

電源コードについて

■電源プラグの差し込みが不完全な状態で使わない



- ・接触不良により発熱し、火災や感電の原因となります。
- ・たこ足配線も、コードが熱をもち危険ですのでしないでください。

■電源コードを加工したり、無理な力を加えたりしない。また家具などの重い物をのせない



- ・コードが傷つき、火災や感電の原因となります。
- ・芯線が露出するなど、コードが傷んだ場合は、使用を中止し、販売店にご相談ください。

■電源プラグにほこりや汚れがついた状態で使用しない。また金属物を近づけたりしない



- ・電気がほこりや汚れ、金属物を伝わり、火災や感電の原因となります。
- ・半年に一度は、プラグをコンセントから抜いて点検し、プラグとコンセントの間にたまったほこりや汚れを取り除いてください。

異常時の注意

■万一、次のような異常が発生したときは、そのまま使用しない。火災や感電の原因となります。



電源プラグ抜く

- ・煙が出ている、へんなにおいがするなど異常のとき
 - ・内部に水や金属物が入ってしまったとき
 - ・落としたり、キャビネットが破損したとき
 - ・電源コードが傷んだとき
- (芯線の露出、断線など)

このようなときは、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜き、販売店に修理を依頼してください。お客様ご自身が修理することは危険です。絶対にやめてください。

雷について

■雷が鳴り出したら、電源プラグに触れない。



接触禁止

- ・誘導雷により、感電のおそれがあります。

設置について

■本機の置き方は



- ・おお向け、横倒し、逆さま、通風孔をふさいだり、風通しの悪い狭い所、などに設置すると、内部に熱がこもり、火災の原因となります。
- ・機器は壁から10cm以上、天面から10cm以上、両側は10cm以上の間隔をあけてください。間隔をあけないと内部に熱がこもり、火災の原因となります。

ご使用について

■電源は交流 (AC) 100 V を使う



- ・この機器を使用できるのは日本国内のみです。自動車や船舶などの直流 (DC) 電源に直接つないだり指定外の電圧や電源で使用すると、火災や感電の原因となります。

This set is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.

■機器内部に金属物や燃えやすいものを入れない



- ・火災や感電の原因となります。
- ・特にお子様にはご注意ください。

■本機の包装に使用しているポリ袋は、小さなお子様の手の届くところに置かない



- ・頭からかぶると窒息の原因となります。

警告

ご使用について

■機器の上に、液体の入った容器や小さな金属物をおかない



・液体が内部に入った場合は、電気が液体や金属部に伝わり、火災や感電の原因となります。

■ネジをはずしたり、分解、改造したりしない



分解禁止

・内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。
・内部の点検や修理などは、販売店にご依頼ください。

■水をかけたりぬらしたりしない。



水ぬれ禁止

・機器を水がかかる場所で使用したり、水にぬらす（つける、かける、こぼす）などして使用すると漏電によって火災や感電の原因となります。
・万一、内部に水が入ったときは、電源プラグをコンセントから抜き、販売店にご相談ください。

■ぬれた手でさわらない



・機器をぬれた手で扱うと感電の原因となります。

■風呂、シャワー室では使用しない



水場での使用禁止

・風呂場やシャワー室では使用しないでください。漏電によって火災や感電の原因となります。

■スピーカーは定格入力を超えるアンプに接続しない



・スピーカーの定格インピーダンスに不適合のアンプで使用すると、火災・感電の原因となります。ご使用の際は取扱説明書をよくお読みください。不明な点がございましたら、販売店やサービス窓口にご相談ください。

注意

ご使用について

■はじめから音量を上げすぎない。



・突然大きな音が出て、スピーカーを破損したり、聴力障害などの原因となることがあります。
・電源を切る前に音量（ボリューム）を下げておき、電源が入ってから徐々に上げてください。

■長期間使用しないときは、安全のため、電源プラグを抜いておく



電源プラグを抜く

・旅行などで長期間使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

注意

電源コードについて

■電源プラグの抜き差しはプラグを持つ



・コードを引っ張ると、コードに傷がつき、火災や感電の原因となることがあります。

■ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。



・感電の原因となることがあります。

■熱機器に近づけない



・コードの被覆が溶けて、火災や感電の原因となることがあります。

設置・接続について

■異常に温度が高くなる場所に置かない



・機器表面や部品が劣化するほか、火災の原因となることがあります。
・直射日光の当たるところ、ストーブの近くでは特にご注意ください。

■機器の上に大きいものや重いものは乗せない



・バランスが崩れて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。

■不安定な場所に置かない



・機器が落ちたり、倒れたりして、けがの原因となるこいがあります。

■接続の前に接続する全ての機器の電源を「切」にしておく（電源プラグをコンセントから抜いておく）



・電源が「入」の状態で見ると、突然大きな音が出て聴力障害の原因となることがあります。

お手入れについて

■お手入れの前には、電源プラグを抜く



電源プラグを抜く

・電源を入れたままにしておくと、感電の原因となることがあります。

安全上のご注意 (つづき)

⚠ 注意



・この機器に乗ったり、ぶら下がったり、もたれかかったりしないでください。特にお子様にはご注意ください。倒れたり、こわれたりして、けがの原因となることがあります。



・本機以外の防磁していないスピーカーをテレビやパソコンのディスプレイに近付けしないでください。テレビなどの色合いが悪くなる可能性があります。



・スピーカーをアンプに接続する際はアンプの電源を必ず切ってください。電源が入った状態でコードをショートさせますと、アンプを故障させたり、火災、感電の原因となることがあります。



・音が歪んだ状態で使わないでください。スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。



・リスニングルームの音響特性の測定など、音楽鑑賞以外の用途には使わないでください。スピーカーを破損したり、火災の原因となることがあります。



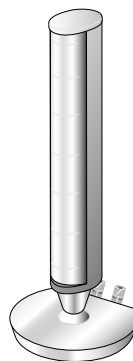
・この機器の表面をベンジン、シンナーなどで拭いたりしないでください。変質したり、塗料がはがれることがあります。

スピーカーの種類

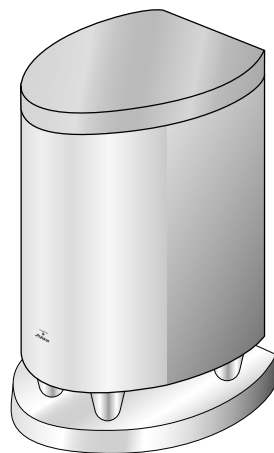
本機は2種類のスピーカーで構成されています。

●メインスピーカー
(×2本)

●サブウーハー
(×1)



SX-XDD3



SX-PWDD3

本機のキャビネットは天然木を用いているため、人工的な木目仕上げと違い、外観が一台、一台異なった仕上げになっています。又、成型合板を用いているので、表面に多少の凸凹が有りますが、ご使用上の支障はありません。

付属品の確認

ご使用になる前に本機に添付されている付属品をご確認ください。

●スピーカーコード (3 m) . . . 4本



使用上のご注意

■本機を美しく保つためには

キャビネットやパネル操作面が汚れたら柔らかい布でからぶきしてください。

汚れがひどいときは、水または中性洗剤を少し布につけてふき、あとはからぶきしてください。

■ステレオを聞くときのエチケット

ステレオで音楽をお楽しみになるときは、隣近所に迷惑がかからないような音量でお聞かせください。特に、夜は小さな音でも周囲によく通るものです。窓をしめたり、ヘッドホンをご使用になるなどお互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

このマークは音のエチケットのシンボルマークです。



■音場の改善

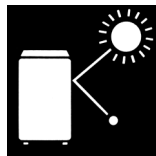
●反射または共振を起こしやすい洋間では、厚手のカーテンやジュータンなどをお使いください。

また、スピーカーの正面（向かい側）が固い壁やガラス戸などの場合には、反射や定在波の発生を防ぐ目的で厚手のカーテンなどで吸音処理することをおすすめします。



設置上のご注意

●キャビネットの変形・変色を防止するため、直射日光や湿気の多い所、冷暖房器の近くなどを避けて設置してください。



●スピーカーの振動でハウリングを起こすことがあります。できるだけプレーヤーから離してください。



●地震や衝撃などで倒れないように設置場所を十分考慮し、しっかり固定してください。



●本機はカラーテレビに対して色むらを起こさないように防磁処理をしておりますが、設置方法によっては色むらが生じる場合があります。設置の際は、以下の点にご注意ください。

1. 本機と一緒にテレビを使用する場合は、必ずテレビの主電源スイッチを切ってから設置してください。なお、テレビの主電源スイッチは切ってから少なくとも30分後に入れるようにしてください。
2. テレビの種類によっては、色むらを生じることがあります。色むらが生じた場合には、テレビより若干離して設置してください。

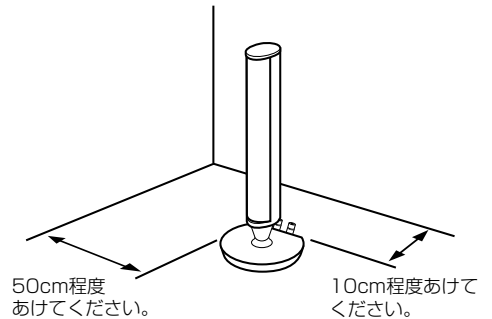
■スピーカーシステム設置の配慮

●スピーカーシステムの再生音はリスニングルームの条件によって微妙に影響を受けやすいものです。本機をご使用になるリスニングルームの諸条件により変化しますので、下記を目安とし、音場が拡がり、音像がはっきりと定位する位置に設置することをおすすめします。

●SX-XDD3（メインスピーカー）

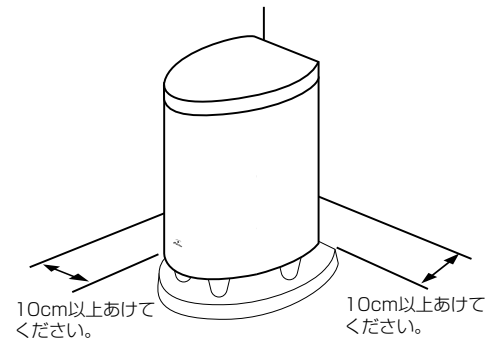
- ・側面の壁から50 cm程度あけることをおすすめします。
- ・背面は10 cm程度あけることをおすすめします。（壁等に当たるとターミナル同士がショートするおそれがありますのでご注意ください。）

また、ステレオの配置は、両スピーカーの間隔を1.0 m～2.0 mとし各々のスピーカーシステムは正面に向けることをおすすめします。



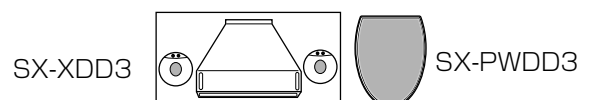
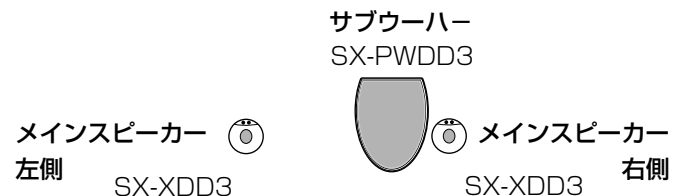
●SX-PWDD3（サブウーハー）

- ・前面は大きく開けてください。
- ・側面は10 cm以上あけてください。
- ・上面は10 cm以上あけてください。
- ・背面は10 cm以上あけてください。



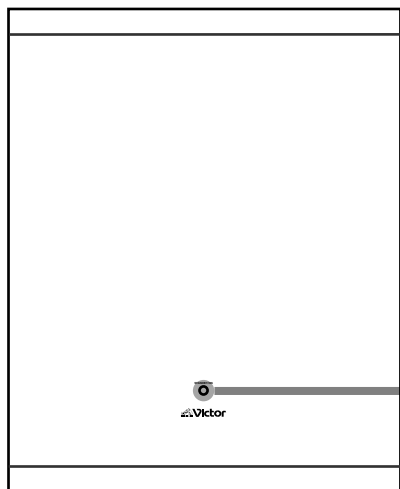
■一般的な設置例

サブウーハーの位置は、メインスピーカーに近いほど音像の定位がより明瞭になります。



各部の名称と機能 (SX-PWDD3)

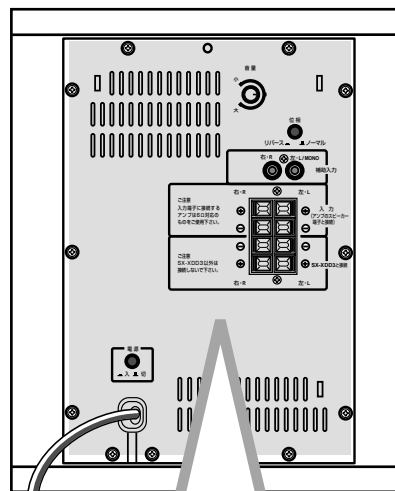
■前面



電源ランプ

電源ON時または、スタンバイ状態のときに点灯します。
赤色：スタンバイ状態
緑色：ON状態

■背面



電源

本機の電源を入/切します。

音量

サブウーハーの音量を調節します。

位相

低音が豊かに聞こえる方に切り換えます。

- ：ノーマル
- ▲：リバース

補助入力

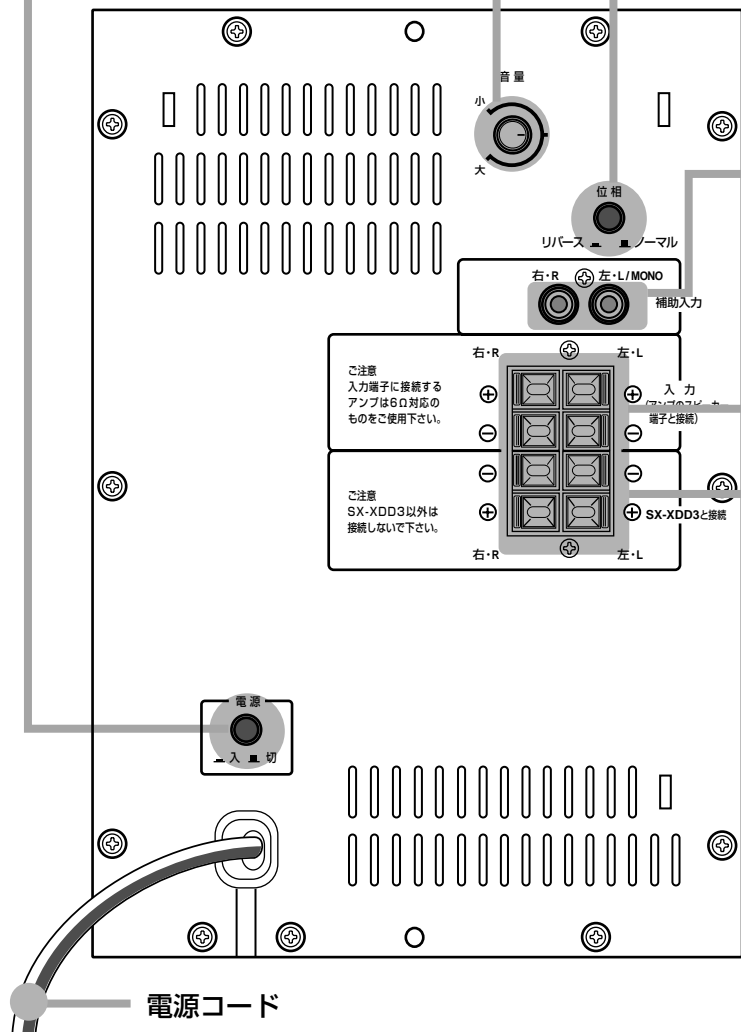
通常は使用しません。
詳しくは8ページの「SX-PWDD3の補助入力への接続」を参照してください。

入力

お客様お持ちのアンプのスピーカー出力端子と接続します。

SX-XDD3と接続

SX-XDD3と接続します。
(詳しくは次ページの「接続」を参照してください。)



電源コード

接 続



注意

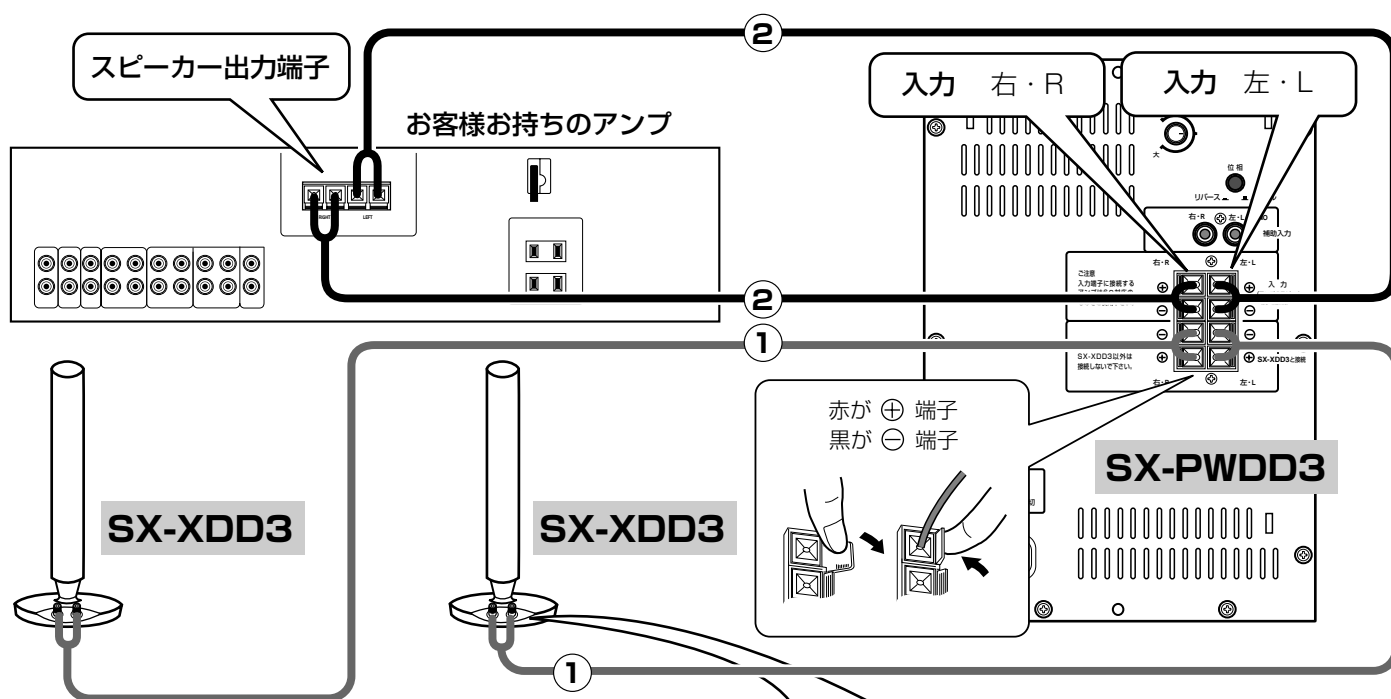
- ・アンプと接続する際は必ずアンプ側と本機の電源を切ってから作業してください。
(全ての接続作業が終了するまで、電源コードは電源コンセントに差し込まないでください。)
- ・メインスピーカー (SX-XDD3) を直接アンプ (お客様のお持ちの) に接続しないでください。スピーカーを破損させる恐れがあります。必ずサブウーハー (SX-PWDD3) と接続してご使用ください。

■接続のまえに

1. スピーカーシステムをアンプに接続するときは、アンプ側の電源を必ず切ってください。電源が入った状態でスピーカーコードをショートさせますと、アンプを故障させる恐れがあります。
2. 本機の定格インピーダンスは6 Ωです。
負荷インピーダンス6 Ωが接続できるアンプをご使用ください。
3. 本機の最大入力 (JIS) は50 Wです。
これはミュージック・ソースを短時間入力できる値 (実行値) で、スピーカーを破壊しない値です。

■通常の接続

1. 下図①のようにSX-PWDD3にSX-XDD3を接続します。
2. 下図②のようにSX-PWDD3の入力端子とアンプのスピーカー出力端子を接続します。



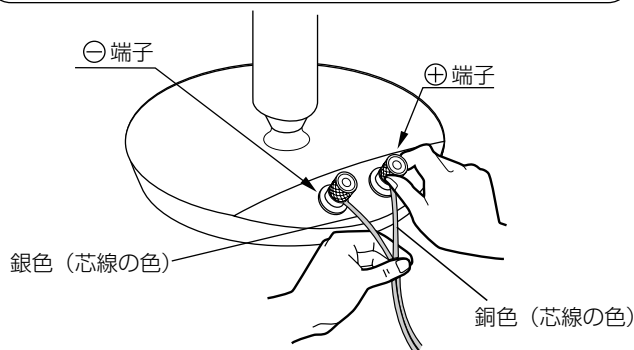
■スピーカーコードを本機に接続する場合の注意

スピーカーコードの極性 (⊕、⊖) を間違えると、ステレオ感や音質がそこなわれますのでご注意ください。
接続したあと、コードを軽く引いて正しく接続されているか確認してください。

付属のスピーカーコード先端のビニールは、**ねじりながら抜きます**。芯線が毛羽立っているときは、よじってください。



インプット
"INPUT"端子のうち赤が + 端子、黒が - 端子です。
図のようにスピーカー端子のつまみを左 (∩) 方向に回し、スピーカーコードを溝に差し込んでから、今度はつまみを右 (∪) 方向へ回してしっかり締めつけてください。+、- の極性を間違えますと、ステレオ感や音質が大きく損なわれます。



接続 (つづき)

全ての接続作業が終了するまで、電源コードは電源コンセントに差し込まないでください。



注意

本機の補助入力端子にアンプ等の REC OUT (録音出力) 端子を接続しないでください。

■ SX-PWDD3 の補助入力への接続

- ・ SX-PWDD3 を単独でサブウーハーとして使用するときに使います。
- ・ アンプ等のサブウーハー出力端子や、MONO 出力端子・ライン出力端子と接続します。
接続コード (RCA ピン) は別途ご用意ください。
- ・ このときは SX-PWDD3 の SX-XDD3 と接続する端子からは信号は出力されません。
- ・ SX-PWDD3 をサブウーハーとして単独で使用する場合のクロスオーバー周波数は 230 Hz に固定となります。
- ・ 本機 : SX-DD3 の標準的な接続に加えて、補助入力への接続を行った場合、サブウーハーからは、SX-DD3 の低域信号と補助入力からの信号が混合されて出力されます。

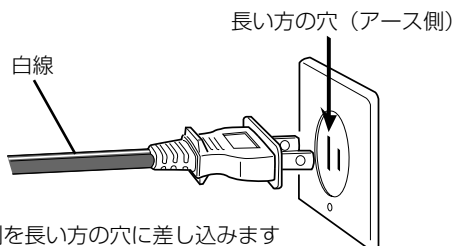
操作方法

全ての接続作業が終了するまで、電源コードは電源コンセントに差し込まないでください。

■ 電源コードの接続 (すべての接続が終わったら)

本機の電源コードには白いマーキングが片側に入っています。これは各機器の電源コードの極性を合わせることでシステムとしての極性を合わせ、よりよい音質を得るためのものです。

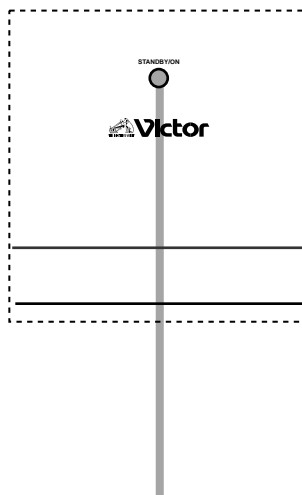
屋内配線や電源事情により異なりますが、一般的にはコンセントの差し込み口の長い方にマーキングがくるように差し込みます。



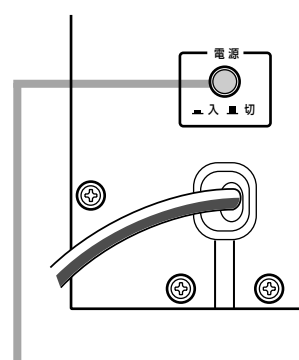
アンプの AC OUTLET に差し込む場合は AC OUTLET の定格電力が本機の消費電力 (39W) 以上あることを確認してください。

■ 電源を入れる

● 前面



● 背面



・ 電源ボタン

- 入 : で電源が入ります。
- 切 : で電源が切れます。

・ 電源ランプ (オートパワーオン/オフ機能について)

電源ボタンを入にすると、電源ランプが緑色に点灯します。その後無信号状態が約 40 分続くと、スタンバイ状態になり、電源ランプが赤色に点灯します。スタンバイ状態の時に音声信号が入ってくると、自動的に ON 状態になり、電源ランプが緑色に点灯します。

ON 状態 : 電源ランプが緑色に点灯します。

スタンバイ状態 : 電源ランプが赤色に点灯します。



注意

本機の音量つまみが小付近になっていたり、アンプの音量が 0 又は、アンプからの音声信号が極端に低いときは、スタンバイ状態から ON 状態に切り換わりません。

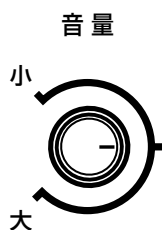
- ・ 本機の電源を完全に切るときは、背面の電源ボタンを押して電源を「切」にするか、電源コードをコンセントから抜いてください。

操作方法 (つづき)

■音量の調節

メインスピーカーとのバランスをとるために音量を調節します。

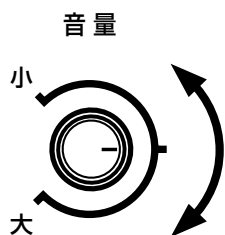
1. 本機の 音量つまみをセンターの位置にします。



通常はこの位置でメインスピーカーとサブウーハーのバランスがとれますが、リスニングルームの諸条件やサブウーハーの設置位置によってバランスが変わることがありますので、以下の調節を行ってください。

2. アンプの音量を普段聞いている程度にし、音楽を再生します。(過入力にご注意ください。)

3. サブウーハーの音量つまみを回して、メインスピーカーの音量とバランスのとれる位置にあわせませす。



- メインスピーカーとサブウーハーとのバランスをとった後は、アンプのボリュームを使って、全体の音量を調節することができます。

■メインスピーカーの保護回路

アンプの音量を、本機の許容入力以上に上げますと保護回路がはたらき音量が小さくなります。このようなときは、お持ちのアンプのボリュームを下げても保護回路がはたらかない位置でご使用ください。

■位相の切り換え

- ・リスニングルームの諸条件やサブウーハーの設置位置によって低音の量感が変わることがあります。
- ・低音が豊かに聞こえる状態に設定します。



- ・位相切り換えボタン

■：ノーマル

通常はこちらの状態で、ご使用ください。

■：リバース

低音が不足しているときは、こちらをご使用ください。

故障かな？と思う前に

症状	原因	処置
電源が入らない	電源コードがコンセントから抜けている	電源コードをコンセントにしっかり差し込んでください。
(電源) スタンバイ状態にならない	音声を再生している 音声再生直後である	操作方法を参照してください。 (8、9 ページを参照してください。)
音がでない (ON 状態にならない)	ボリュームつまみが MIN になっている	ボリュームつまみを適当な音量になるまで、回してください。
	接続のしかたをまちがっている	接続のしかたを確認してください。 (7、8 ページを参照してください。)
	アンプからの音声信号が極端に低くなっている	操作方法を参照してください。 (8、9 ページを参照してください。)
音が大きくなったり小さくなったりする	保護回路が働いている	保護回路が働かない位置までお持ちのアンプの音量を下げてご使用ください。 (9 ページを参照してください。)

仕様

SX-XDD3

種類 : 1 ウェイ 1 スピーカー
密閉型 / 防磁形 (JEITA/EIAJ)
使用スピーカー : 9.5 cm × 1.0 cm DD スピーカー
再生周波数帯域 : 230 Hz ~ 50 kHz
出力音圧レベル : 80 dB/w · m
入力インピーダンス : 6 Ω
最大入力 : 50 W
定格入力 : 12.5 W
最大外形寸法 : (横幅) 125 mm × (高さ) 331 mm × (奥行き) 123 mm
質量 : 0.85 kg

SX-PWDD3

種類 : パワードサブウーハー
バスレフ型 / 防磁形 (JEITA/EIAJ)
使用スピーカー : 17 cm コーンスピーカー
再生周波数帯域 : 30 Hz ~ 230 Hz
入力インピーダンス : 補助入力端子 50 k Ω
: 入力端子 6 Ω (SX-XDD3 接続時)
入力端子 : スピーカー端子 L/R
補助入力端子 : RCA ピン L (MONO) / R
SX-XDD3 と接続する端子 : スピーカー端子 L/R SX-XDD3 専用
電源電圧 : AC 100 V 50 Hz / 60 Hz
内蔵アンプ最大出力 : 60 W
(10 %THD/AT 100 Hz/4 Ω)
消費電力 : 39 W
スタンバイ時消費電力 : 5.6 W
最大外形寸法 : (横幅) 264 mm × (高さ) 372 mm × (奥行き) 340 mm
質量 : 9.9 kg

付属品

スピーカーコード (3 m) × 4

(注) 本機の仕様および外観は、改善のために予告なく変更することがあります。

ビクターサービス窓口案内 (ビクターサービスエンジニアリング株式会社)

ビクター製品のアフターサービスはお買い上げの販売店へご相談ください

ご転居等で保証書記載のお買い上げ販売店にアフターサービスをご依頼になれない場合は、最寄りの「ご相談窓口」にご相談ください。

都府県名	窓口名	TEL	☎	所在地
北海道				
北海道	札幌 S.C.	(011)898-1180	004-0005	札幌市厚別区厚別東5条1-2-29
	旭川 S.C.	(0166)61-3659	070-8012	旭川市神居2条3-2-15
	北見 S.S.	(0157)25-8557	090-0037	北見市山下町4-7-19
	釧路 S.S.	(0154)24-0797	080-0005	釧路市松浦町3番3号
	帯広 S.S.	(0155)24-4493	080-0806	帯広市東六条南12-1
函館 S.S.	(0139)52-5324	040-0001	函館市五稜郭町4-16函館五稜郭MFビル1F	
東北				
青森	青森 S.C.	(017)723-2261	030-0844	青森市桂木4-6-17
	八戸 S.S.	(0179)44-4521	031-0803	八戸市諏訪2-2-36
岩手	盛岡 S.C.	(0172)28-0165	036-8084	弘前市高田1-13-1
	盛岡 S.C.	(019)637-0121	020-0835	盛岡市津志田9地割24-1
秋田	水沢 S.S.	(0197)22-2773	023-0815	水沢市天文台通り3-12
	秋田 S.C.	(018)824-3189	010-0953	秋田市山王中園町4-1
宮城	大館 S.S.	(0186)43-0980	017-0874	大館市美園町5-6
	大横手 S.S.	(0182)32-8873	013-0064	横手市赤坂字大道向3-6
山形	仙台 S.C.	(022)287-0151	984-0011	仙台市若林区六丁の目西町7-13
	石巻 S.C.	(0225)94-7711	986-0853	石巻市門脇字四番谷地8-18
福島	山形 S.C.	(023)642-0279	990-2412	山形市松山3-12-18
	酒田 S.S.	(0234)26-7145	998-0842	酒田市亀ヶ崎6-6-1
福島	郡山 S.C.	(024)952-6331	963-0205	郡山市堤1-3
	いわき S.S.	(0246)27-7991	973-8409	いわき市内郷御台町鶴巻6-1
福島	会津若松 S.S.	(0242)38-1355	965-0831	会津若松市表町1-44ハイツインフォニー101
	福島 S.S.	(024)553-9437	960-0103	福島市内本内字南原26-1
関東・甲信越				
新潟	【出張修理専門】のご相談窓口			
	新潟サービスセンター	(025)241-4003	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	新潟 S.C.	(025)242-3431	950-0084	新潟市明石1-2-19
	長岡 S.S.	(0258)24-8391	940-0012	長岡市上下条2-1366-1
長野	上越 S.S.	(0255)45-1734	942-0081	上越市五智1-1-1
	【出張修理専門】のご相談窓口			
	新潟サービスセンター	(026)221-7807	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	長野 S.C.	(026)221-6583	380-0913	長野市川合新田962-1
群馬	松本 S.S.	(0263)25-9165	390-0828	松本市庄内2-4-21
	【出張修理専門】のご相談窓口			
	新潟サービスセンター	(027)255-5982	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	前橋 S.C.	(027)255-5921	371-0854	前橋市大渡町1-19-1
栃木	【出張修理専門】のご相談窓口			
	新潟サービスセンター	(028)635-2938	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	宇都宮 S.C.	(028)638-1639	321-0953	宇都宮市東宿郷3-5-22
	茨城	土浦 S.C.	(0299)21-8756	300-0813
山梨	水戸 S.S.	(029)246-1560	310-0836	水戸市元吉田町1077
	【出張修理専門】のご相談窓口			
	新潟サービスセンター	(055)227-5773	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	甲府 S.S.	(055)237-4016	400-0864	甲府市湯田2-11-5
千葉	【出張修理専門】のご相談窓口			
	新潟サービスセンター	(03)5803-2888	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	千葉 S.C.	(043)246-2588	261-0001	千葉市美浜区幸町2-1-1
	柏 S.C.	(0471)75-4322	277-0863	柏市豊四季512-10-67
東京	浦安 S.S.	(047)353-6189	279-0001	浦安市当代島2-13-27
	【出張修理専門】のご相談窓口			
	新潟サービスセンター	(03)5803-2888	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	本郷 S.C.	(03)5684-8254	113-0033	文京区本郷3-14-7 ビクター本郷ビル1F
埼玉	秋葉原 S.S.	(03)3251-2128	101-0021	千代田区外神田1-6-6
	練馬 S.C.	(03)3993-7520	176-0014	練馬区豊玉南1-19-1
	大田 S.C.	(03)3727-9385	145-0062	大田区北千束2-20-6
	八王子 S.C.	(0426)46-6914	192-0045	八王子市大和田町2-9-6
	【業務用機器専門】のご相談窓口			
新潟サービスセンター	(03)3874-5231	110-0003	台東区根岸5-4-3	
神奈川	【出張修理専門】のご相談窓口			
	新潟サービスセンター	(03)5803-2888	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	大宮 S.C.	(048)654-5241	330-0037	さいたま市東大成町2-658-1
	熊谷 S.S.	(048)553-5105	361-0057	行田市城西2-7-39ツインハイツ石山B

都府県名	窓口名	TEL	☎	所在地
東海・北陸				
静岡	静岡 S.C.	(054)282-4141	422-8006	静岡市曲金6-5-28
	沼津 S.S.	(0559)22-1557	410-0041	沼津市筒井町6-5
	浜松 S.S.	(053)421-3441	435-0041	浜松市北島町785
愛知	名古屋 S.C.	(0568)25-3235	481-0041	西春日井郡西春町九之坪鴨田121-1
	三河 S.C.	(0564)51-5931	444-0833	岡崎市桂壇3-10-12
	豊橋 S.S.	(0532)64-0815	440-0853	豊橋市佐藤5-19-1
岐阜	岐阜 S.S.	(058)274-1947	500-8367	岐阜市宇佐南3-1-28
	三重 S.S.	(0593)52-0841	510-0076	四日市市堀木2-15-2
三重	津 S.S.	(059)229-7780	514-0815	津市大字藤方485-18
	富山 S.C.	(076)425-2397	939-8211	富山市二町四丁目1-3
石川	富山 S.C.	(076)269-4821	921-8062	金沢市新保本四丁目65-17
	福井 S.S.	(0776)53-6916	910-0843	福井市西開発3-211
近畿				
滋賀	滋賀 S.S.	(077)582-5812	524-0033	守山市浮気町268
	【出張修理専門】のご相談窓口			
京都	大阪 S.C.	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	京都 S.S.	(075)644-0247	612-8401	京都市伏見区深草下川原町31-1
京都市北部	福知山 S.S.	(0773)22-8664	620-0059	福知山市厚東町145-2
	【出張修理専門】のご相談窓口			
奈良	大阪 S.C.	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	奈良 S.S.	(0744)24-6271	634-0007	橿原市葛本町834-2
大阪	【出張修理専門】のご相談窓口			
	大阪 S.C.	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
大阪	大阪 S.C.	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	大阪南 S.C.	(06)6768-5489	543-0028	大阪市天王寺区小橋町10-16
	堺 S.C.	(0722)54-2881	591-8032	堺市百舌鳥梅町3丁目21-2 伊助ハイツ
和歌山	【業務用機器専門】のご相談窓口			
	大阪メンテナンスセンター	(06)6304-6715	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
和歌山	和歌山 S.S.	(073)472-6799	640-8323	和歌山市太田430-8
	田辺 S.S.	(0739)22-9976	646-0031	田辺市湊1581-12
兵庫	【出張修理専門】のご相談窓口			
	大阪 S.C.	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
兵庫	神戸 S.C.	(078)252-0562	651-0086	神戸市中央区磯上通3-2-16
	姫路 S.S.	(0792)34-3833	670-0975	姫路市中地南町11-1
中国				
岡山	岡山 S.C.	(086)243-1566	700-0927	岡山市西古松西町8-23
	広島 S.C.	(082)243-9839	730-0825	広島市中区光南3-9-17
山口	福山 S.C.	(0849)31-6984	721-0973	福山市南蔵土町3-5-15
	山形 S.C.	(083)973-3708	754-0022	吉敷郡小郡町花園町5-28
島根	徳山 S.S.	(0834)27-1331	745-0042	徳山市野上町2-35
	下関 S.S.	(0832)51-1040	751-0852	下関市熊野町2-14-23
鳥取	山陰ビクター販売(株)サービスセンター	(0852)31-8900	690-0823	松江市学園1-16-39
	松江 S.C.	(0853)21-4611	693-0001	出雲市今市町854
鳥取	浜田 S.C.	(0855)22-1584	697-0023	浜田市長沢町671-1
	鳥取営業所サービス係	(0857)23-2151	680-0911	鳥取市千代水1丁目22-1
四国				
香川	高松 S.C.	(087)866-1200	761-8057	高松市田村町205-1
	徳島 S.C.	(088)622-7387	770-8052	徳島市沖浜2-37
愛媛	高知 S.S.	(088)882-0546	780-8122	高知市高須新町4-1-143
	松山 S.C.	(089)923-0372	791-8015	松山市中央1-4-12
愛媛	宇和島 S.S.	(0895)20-1018	798-0087	宇和島市坂下津早407-40
	九州・沖縄			
福岡	福岡 S.C.	(092)431-1261	812-0011	福岡市博多区博多駅前4-16-1
	久留米 S.S.	(0942)39-3495	830-0038	久留米市西町字神浦1-1192
	北九州 S.C.	(093)921-3981	802-0064	北九州市小倉北区片野2-15-12
長崎	長崎 S.C.	(095)862-5522	852-8021	長崎市城山町9-13
	佐世保 S.S.	(0956)33-5568	857-1166	佐世保市木風町1467-2
大分	大分 S.S.	(097)543-1422	870-0882	大分市大道町4-1-2
	熊本 S.C.	(096)353-4536	861-4101	熊本市近見町8-1-10
宮崎	宮崎 S.S.	(0985)24-5401	880-0032	宮崎市霧島町3-59
	延岡 S.S.	(0982)35-7707	882-0857	延岡市慈徳町24-3
鹿児島	鹿児島 S.C.	(099)282-8818	890-0034	鹿児島市上七丁目9-8
	鹿児島 S.C.	(098)898-3631	901-2224	沖縄県宜野湾市真志喜1-13-16

所在地、電話番号が変更になる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

1201

●略号について S.C.はサービスセンターの略称です。 S.S.はサービスステーションの略称です。

保証とアフターサービス (必ずお読みください。)

保証書(別添)

保証書は、お買い上げの販売店よりお受け取りください。「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、記載内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

保証期間
お買い上げの日から1年間

補修用性能部品の最低保有期間

本機の補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後8年です。

補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理に関するご相談やご不明な点は

修理に関するご相談やご不明な点は、お買い上げの販売店にご相談ください。ご転居等、保証書記載のお買い上げ販売店にご依頼になれない場合には、11ページの「ビクターサービス窓口案内」をご覧のうえ最寄りの「ご相談窓口」にご相談ください。

修理を依頼されるときは

出張修理

10ページの「故障かな?と思う前に」に従ってお調べください。それでもなお異常のあるときは、使用を中止し、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

ご連絡していただきたい内容

品名	スピーカーシステム
型名	SX-DD3
お買い上げ日	年 月 日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご住所	付近の目印等も併せてお知らせください
お名前	
電話番号	
訪問ご希望日	

便利メモ	お買い上げ店名	☎() -
------	---------	--------

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、お客様のご要望により有料で修理させていただきます。

修理料金の仕組み

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、測定機器等設備費、故障診断、修理および部品交換、調整、点検にかかる費用です。 +
部品代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。 +
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣するための費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

ご相談や修理は

ビクター製品についてのご相談や修理のご依頼は、お買い上げの販売店にご相談ください。

転居されたり、贈答品などでお困りの場合は、下記のご相談窓口にご相談ください。

修理などのアフターサービスに関するご相談
ビクターサービスエンジニアリング株式会社

お買い物相談や製品についての全般的なご相談
お客様ご相談センター

11ページの「ビクターサービス
窓口案内」をご覧ください。

東京 ☎(03) 5684-9311
FAX(03) 5684-9317
〒113-0033 東京都文京区本郷三丁目14-7 ビクター本郷ビル
大阪 ☎(06) 6765-4161
FAX(06) 6765-4891
〒543-0028 大阪市天王寺区小橋町10-16 大阪ビクタービル

ビクターホームページ <http://www.jvc-victor.co.jp/>

日本ビクター株式会社

パーソナル&モバイルネットワークビジネスユニット

〒371-8543 群馬県前橋市大渡町一丁目10番地の1 電話 (027) 254-8952